

お知らせコーナー

【講座情報】

NPO設立をお考えの方対象！【NPOのはじめかた講座】

「NPOとは何か？」というお話から、NPO（任意団体）の設立方法についてご説明します。NPOを立ち上げたいという方は必見の講座です。

【日時】8月23日（土）10：00～12：00

【場所】コムズ3F 会議室2

【料金】無料

【定員】先着30名

【講師】まつやまNPOサポートセンター センター長 佐野

ボランティア募集担当の方対象！【NPOの広報講座】

「なかなか人が集まらない…」とお嘆きのアナタ。どうすれば、もっと活動や団体に人が集まってくるのかを、広報のワザと事業設計の視点からお伝えします。ご参加の方には、すぐに役立つ広報ツールをプレゼントいたします。

【日時】8月2日（土）9：30～11：30

【場所】コムズ3F 会議室2

【料金】500円（1人）

【定員】先着20名

【講師】まつやまNPOサポートセンター 事業設計サポーター 織田

【大切なお知らせ】

「資産の総額変更」があったときには、登記が必要です

NPO法人の方は、毎年決算書を作成しているかと思います。

そのうち、財産目録の額に変更があった場合、「資産の総額変更」登記が必要です。

この変更登記を怠ると、過料が発生するおそれがあります。

法務局で登記簿謄本（600円必要）を取得することで、総額変更を行っているのか

確認することができますので、気になる方は一度、お手続きください！

お問い合わせは まつやまNPOサポートセンターまで

☎790-0003 松山市三番町6丁目4-20 コムズ内

Tel: 089-943-5790

Fax: 089-943-5796

E-mail: pico@npo.coms.or.jp



まつやまNPO 検索

まつやまNPOサポートセンターの情報誌

サポセンだより



特集 広告の基本～押さえておくべき7つのコツ

イベントや活動のPRを行うときの基本についてご説明します。

お知らせ① あなたの情報発信を、サポートセンターが応援します！

サポートセンターがご提供する広報支援メニューをご紹介します。

お知らせ② 「ぷち交流会」に遊びに来ませんか？

あなたとみんなをつなぐ、市民活動のお茶会を毎月開催しています。

コラム NPO会計 一問一答！～会計の区分と按分について

NPOの会計に関するコラム。今回は「会計の区分」についてです。

PR お知らせコーナー

【発行】
まつやまNPO
サポートセンター

広告の基本 ～押さえておくべき7つのコツ

「自分たちがやっていることを、もっとみんなに知ってもらいたい！」そういった思いは、どのNPOにも共通するものです。イベントにはできるだけ多くの人に来てもらいたいし、寄付集めをはじめたのなら、みんなにそのことを知ってもらいたい。でも、どうすればいいのでしょうか…？
そこで今回は、広告宣伝の基本についてお話いたします。

❖ コツその① 読み手はだれかを考えよう！

最初のコツは、「読み手はだれかを考える」ことです。その広告は、いったい誰を対象としているのでしょうか？「とにかく幅広く、だれでも！」というのでは、残念ながらよいものにはなりません。「この広告は、私に向かって話しかけている」と思ってもらえるようなものにするこ

とで、はじめて効果があるものになるそうです。
読み手は誰かを、はっきりと決めることで、文章の書き方、イラストや写真を選ぶ基準、広告を出す媒体などを決めることができます。まずは「市民ならどなたでもOK」思考から、「あなただけのために」思考へと頭のスイッチを切り替えてみるのがコツです。



❖ コツその② 「ぴったり感」のあるキャッチコピーを作ろう！

2つめのコツは、よいキャッチコピーです。キャッチコピーづくりは広告宣伝の鍵ともいえるもので、本やセミナーなど様々なところでよいコピーの作り方を学ぶことができます。今回、ここで重要視したいのは「ぴったり感」です。

キャッチコピーの役割は、「広告本文を読ませること」であるといわれています。そこで、読み手が誰なのか、何をお知らせしたいのかを決めた上で、そこにぴったり合うようなキャッチコピーを作ります。例えば、子育てに関する悩み相談窓口のおしらせなら「子育てに悩んでいるあなた！悩みを軽くする方法をご存知ですか？」というコピーを作り、本文の悩み相談窓口への案内文へ誘導するのです。まちがっても「お知らせ内容の要約(例：市民子育て相談開催のお知らせ)」や「意味のない、なんとなくコピー(例：お母さんがニコニコだと、子どももニコニコ！)」を作らないようにしましょう。

NPO会計一問一答！ ～会計の区分と按分について

❖ 問 「ある経費は「事業費」と「管理費」に按分して分ける、と聞いたのですが何のことですか？」

❖ 答 お金の使い道を、実態にあわせて正しく分けることです。

● まずは大枠である「事業費」「管理費」に分ける

NPO会計基準では、すべての経費を、「事業費」と「管理費」に分けることが求められています。

「事業費」とは、具体的に事業を行うために支払った経費を指します。

「管理費」とは、総会開催の費用など、団体を維持管理するために支払った経費を指します。

この2つに分けることで、団体がどれだけ活動や管理にお金を使ったのかの割合を測れます。

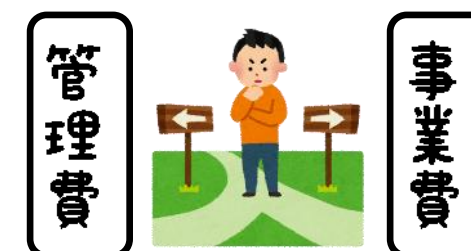
この区分を行うため、経理担当者は、領収書をまとめる際に「〇〇費の領収書だ」と判断すると同時に、その領収書が「事業費としての経費か、管理費として経費か」を記録しておく必要があります。

● あんぶん 按分は、事業と管理に共通する経費を分割するやり方

また、人件費や家賃など、事業費と管理費のどちらにも共通しそうで、さらに領収書を細かく分けることが困難な経費については、基準となる比率(使用割合や従事割合、収入割合等)に応じて事業費と管理費に区分計算する必要があります。

例えば使用割合でいえば、事務所の使用時間の記録をとった結果、事業のために9割、管理のために1割使っているとすれば、事業費の家賃に総額の9割、管理費の家賃に残りの1割を割り振るようになります。

割合の基準となる比率は、科目ごとでも一括で同じ比を使用しても構いませんが、より実態に即したものを採用する必要があります。それらは団体ごとで話し合って決めてもらう必要がありますが、一度基準となる比率を決めると、みだりに変更することはできませんのでご注意ください。



「ぶち交流会」に遊びに来ませんか？

サポートセンターでは、毎月1回、みんなで集まっておしゃべりを楽しむ会を開催しています。色々なテーマでおしゃべりをして、友達作り、知り合い作りをサポートしています。ぶち交流会を通じて、あなたの人生をもっとイキイキしたものにするきっかけを作りませんか？

❖ 市民活動に関わるなかまを、もっとつなげて、増やしたい。

市民活動に興味がある、社会のこんなことが気になっている、NPOをやっているが、なかなか相談できる知り合いがいない…そんな思いを抱えたみなさんが、私たちセンター職員と一緒にお茶を飲みながらおしゃべりできる場を、平成25年度から毎月第3土曜日の午後で開催しています。

毎回5～6人の方が集まりお話しする中で、「何かやってみよう！」というきっかけや、「新しい出会いを見つけた！」というつながりを得たりする場となっています。

最初は初対面で緊張するかもしれませんが徐々に打ち解け、最後はみんな楽しく和やかな時間をすごしています。メールやお電話にて、どうぞお気軽にお問合せ・お申込ください！

❖ 開催予定日のお知らせ

●7月19日 テーマ:「NPOでハタラク」って？

最近では、NPOで働いてお金をもらうという選択があります。本やネットでは知れないリアルなお話をされに来ませんか？「知識がまったく無い！」という方も大歓迎です。

●8月16日 テーマ:「個性」について考えよう

皆が持っている「個性」。その個性は人それぞれです。多様化が認められだした社会の中で、個性のあり方についてどう思うか、あなたの話を聞かせてください。

●9月20日 テーマ:情報社会であなたはどうしますか？

情報がたくさんあふれる社会の中で、あなたはどのように活用・工夫をして過ごしていますか？他の参加者と共に、情報化社会の中での生活についておしゃべりしませんか？

※メールやお電話にて、どうぞお気軽にお問合せ・お申込ください！

❖ コツその③ 読み手が「何をすればいいか」がわかるようにしよう！

3つめのコツは、広告を見た人が「次にどうすればいいか」をわかるようにすることです。

「参加したいな」「それがほしいな」と思った読み手が、「じゃあどうすれば、それを実現できるのだろう…」と悩むことのないように、どんな行動をすればいいのかを分かるようにし、さらに、そうするよう促してあげることがコツになります。

「〇月〇日に開催して、参加費は××円です」だけの「ただのお知らせ」では、大量の情報に押し流されている多くの現代人は反応することができません。「メールか電話を1本ください」と書いてあれば、「じゃあ電話かメールすればいいのね」と分かってもらえます。



❖ コツその④ 今ある、つながりを活かそう！

①～③までは、「広告の作り方」に関するコツでしたが、ここからは「情報の広げ方」に関するコツをお話します。

コツの4つめは「今ある、つながりを活かす」ことです。ビジネスの世界では、「新規顧客を作り出すことがもっともエネルギーが要る」といわれています。ですから、「いかにリピーターを作り出すか」に焦点が当てられています。広告もそれと同じです。過去の参加者に対して、メールや電話などで広告してみてもいいかがでしょうか？

また、SNSなどのツールを使って、知り合いに対して広告してみたほうが、良い反応を得られるかもしれません。

そして、新しいつながりは、今あるつながりを活かす…広告先を紹介してもらったり、新しい人をイベントに連れて来てもらったりすることで広げていくのです。



❖ コツその⑤ いろいろなメディアを使おう！

コツの5つめですが、いろいろなメディア(媒体)を使うことです。

「チラシまきました」「ホームページに載せました」だけでは、広告の打ち手としては少なすぎます。いろいろな手段を使うことは、多くの読み手にアプローチするためでもあります。ひとりの読み手がいろいろなタイミングでその情報をキャッチできるような状況を作り出すという効果もあります。

チラシ、会報誌、ホームページ、ブログ、SNS、メールマガジン、タウン情報誌、新聞、ラジオ、テレビ、ツイッター、FAX、はがき、クチコミなど、ありとあらゆる手段を惜しみなく使うことで、最大多数の読み手に、最大回数のアプローチを行うことができます。



❖ コツその⑥ 何度も繰り返し発信しよう！

コツ⑤でもお話しましたが、読み手が何回も同じ情報に触れることは、広告効果を発揮するために必要なことです。そのため、コツの6つめは「何度も繰り返し発信する」ことにあります。

テレビのCM枠はきわめて高価だということは、皆さんよくご存知だと思います。それは、テレビ番組を多くの人が目にするだけでなく、CMは何回も繰り返し、聴覚と視覚を刺激する情報を発信できるからです。それにより、視聴者に「刷り込み」をすることがテレビCMの価値だとされています。

1回だけお知らせをして、反応がないからダメだというのではなく、手を変え品を変え、何度も繰り返して広告することが大切です。

❖ コツその⑦ うまくいったものは、繰り返し使おう！

最後、7つめのコツは、「うまくいったものは、何度も再利用しよう」というものです。

これまで説明した6つのコツを使って、ひとつの広告を作り上げるには相当のエネルギーが必要になります。しかし、そのやり方を再利用することができれば、読み手の対象や言葉などをアレンジするだけで、どうやって発信するのか、どこに発信するのかといった「広告のしくみ」自体は再利用できます。

サポートセンターでは、みなさんが広告のしくみを作ったり、キャッチコピーなどを考えたりする際にご相談を承ったり、広告をサポートするサービスメニューを取り揃えています。ぜひ一度、センターまでお声掛けください！

お知らせ あなたの情報発信をサポートセンターが応援します！

あなたの情報発信を、 サポートセンターが応援します！

サポートセンターでは、あなたの広告宣伝をサポートするために、色々なサービスメニューをもっています。何かお役に立てそうなところがあれば、ドシドシご活用ください！

● チラシ掲示・配架コーナー

サポートセンター入り口に、チラシを掲示したり配架したりするための場所を設けています。コムズ正面玄関近くにありますので、施設利用者の多くの目に付くところに、みなさんのチラシを置くことができます。



● 団体活動紹介ボード

同じくコムズ正面玄関近くに、約1畳程度の展示ボードを設置しています。こちらはみなさんからの申込により、団体の活動紹介を行える場にしています。展示期間は少なくとも1か月で、次の団体からの申込みがない限りは継続して展示いたします。

● ホームページ等情報配信サービス

サポートセンターのホームページ、ブログ、メールマガジン、Facebookなどで、みなさんからのお知らせを配信しています。メールにてチラシや原稿をお送り頂き、それを元にセンターが記事を作成して配信するものです。

● プレスリリース作成支援「NPOニュースキャスト」

市内の各マスメディアに対してイベント情報等を配信する「プレスリリース」の作成支援と、記者クラブ等への配信サポートを行います。

● 市民活動配送便

松山市NPO登録を受けているNPOが、市有施設(公民館、学校等)に対してチラシや広報誌を配布できるサービスを提供しています。配布したい媒体ごとに審査が必要ですが、許可が出ればセンターにて封入作業をしていただき、発送はセンターが行います。

